

良い締めくくりができますように



12月4日のP学年委員会主催「校長先生と語り合う会」のメインテーマは『ネット依存』でした。“LINEでのやり取りが多い”“すぐにスマホを手にはしている”“最初に決めたルールを守らせ続けるのが難しい”など、参加者の方々から悩みや苦勞、不安感等の情報交換が多くありました。

情報機器についての現状や問題提起は、今学期末に発行予定のP広報紙でも取り上げられているので、是非ご覧ください。

さて、2学期の登校もいよいよ8回となりました。3年生の三者面談は既に終わっていますが、1・2年生の保護者の皆様は今週末からです。時間は15分ほどですが、どうぞよろしくお願いたします。

生活、学習・進路、健康、交友関係等と話題は様々ありますが、ご家庭に持ち帰って、お子様の今学期（今年）が新年につながる会話を繰り広げていってください。

脱却へ生身の交流を

～子どものスマホ・ネット依存～

上の見出しで12月5日の神奈川新聞に臨床心理士のヴィヒャルト千佳こさんが講座の記事が載っていました。

ヴィヒャルトさんは多くの相談事例もお持ちで、一昨年度の市主催いじめを考える児童生徒委員会での講師も引き受けてくださっています。著書も多くあるので、興味のある方は手に取ってみてはいかがでしょうか。

【講座の記事から抜粋】

- ◇ゲームを責めるのではなく『私はあなたが心配』と、親が頑張って声を掛けることが大切。
- ◇特に日々のあいさつは、親に大切にされていることを子に理解させる上で重要。
- ◇高校受験や将来の職業など、その子の年齢に必要な目標が明確になる情報を、言葉でたくさん与えることが大切。



進めています 3年生の個人面談



この日は教頭先生も一緒に

1学期はグループ面談を順番に行いましたが、桜中祭を終えた10月11日からは昼休みと放課後を使って個人面談を進めています。

入試では、頑張ってきたことを含めて自分の特長を自分自身が理解し、言葉で表現してうまく他者に伝えることが大切になりますが、緊張との闘いもあるでしょうね。

来年4月以降の未来像や、もっと先を見据えた話題を楽しませてもらっています。あと三ヶ月で義務教育も終了。どんな人生を切り拓いていくのでしょうか。

自分以外の人を幸せに… 福祉体験学習 11月14日

「自分以外の人を幸せにすること」を学びのねらいとして午後の授業時間を使って1年生が校内で福祉体験学習を行い、知識や体験を通して“相互理解”“安心した生活とは…”“自分ができることは…”などを考えました。

様々な人たちと共に生きている現代社会。今回の学びは、福祉を越えて普段の生活の中でも生かされていくとよいですね。



災害時 毛布を使って



点字を打ってみよう



手話でコミュニケーション



異文化交流で東海大生をお招き



妊婦さんの負担を体験

あすなろ級クリスマスコンサート 12月7日 保健福祉Cにて

市内中学校特別支援学級の交流行事が市保健福祉センターで行われ、大根中はステージで「I want you back ～帰ってきてほしいの～」のストンプ&ダンスを発表してきました。

3日の放課後には、本番に先駆けて大根中体育館ステージで職員へ披露のリハーサルステージも。



堂々としたステージ発表でした



拍手喝采!

本番では、ダンスはもちろんストーリーある語りと見栄えのする衣装は観客を魅了し、会場から自然と手拍子が沸き起こるなどとても素敵なステージを創りあげました。

市内中学校生徒会意見交換会 12月8日 堀川公民館にて

大根中からは現と新の本部役員13人が参加して、大根中学校の取り組みを説明しながら他校との情報交換を行ってきました。いじめを考える児童生徒委員会やピアサポート研修会なども含め、市内9中学の生徒会は他校の良いところを互いに取り入れ、より良い学校づくりを進めています。



分科会の司会を務めました



記録係が全体に発表です

自分達のアイディアと実行で自分達の未来を創っていく。そのような姿を応援していきたいです。

この通信はカラー版で市HPにアップしてあります。「大根中学校」を検索して、「砂田が丘通信」からご覧ください。

学校通信についてご意見・ご質問等ございましたら、校長または教頭まで声をお寄せください。 77-0446